



## part1

# 100年映画祭のためのバトン

北海道で開催される3つの国際映画祭が抱える課題から、それぞれの映画祭が未来に向けてどのように取り組めばよいのか、札幌の映画文化づくりの視点から話をしていきます。

## part2

# NoMapsハレの日宣言

これからNoMapsが目指すのは“お祭り”。なぜお祭りはワクワクするのでしょうか・・・

お祭りの出演者、運営者、研究者の方をお招きし、様々な立場からのクロストークでお祭りの魅力をひもとき、NoMapsが札幌に根付く未来を考えます。

日時 2022年10月23日(日) part1 13:30-14:30(開場13:00)

part2 15:30-16:30(開場15:00)

※1部と2部の間は完全入替制です

会場 札幌市民交流プラザ1階 SCARTSコート 札幌市中央区北1条西1丁目  
(札幌市図書・情報館に隣接)

定員 各回80名(事前申込制) 受講料 無料

申込開始 10月1日(土)10時より

イベント予約システム(<https://www.library.city.sapporo.jp/event>)  
※利用には貸出券が必要)、もしくは電話(011-208-1113)でお申込みください。  
感染症拡大防止のため、連絡先をお聞きます。(感染者が発生した場合、保健所等に連絡先を提供する場合があります。この他の目的には使用しません)

### 感染対策を実施します

- ・換気が十分おこなわれた会場です実施します。
- ・講師はマスクまたはマウスシールドを着用します。
- ・参加者の方もマスク着用をお願いします。



↑イベント予約システムはこちら

主催/札幌市図書・情報館、NoMaps実行委員会、公益財団法人札幌市芸術文化財団



## 札幌市図書・情報館

連絡先/札幌市教育委員会中央図書館利用サービス課図書・情報館  
〒060-0001 札幌市中央区北1条西1丁目 札幌市民交流プラザ2階  
TEL.011-208-1113 FAX.011-208-1110  
HP: <https://www.sapporo-community-plaza.jp/library.html>



SAPPORO



さっぽろ市  
02-503-22-449  
R4-2-356

# part1 100年映画祭のためのバトン



小野 朋子 (おの・ともこ)  
新千歳空港国際アニメーション映画祭 チーフ・ディレクター  
1976年北海道札幌市生まれ。  
2007年より札幌市内でイベントスペースを運営。5年間の活動を経て、毎年3万人以上を動員する新千歳空港国際アニメーション映画祭のチーフ・ディレクターとして、2014年映画祭設立時よりプログラム選定と運営業務全般を行う。そのほか、映画監督講演シリーズ「映画へと導く映画」、「プラザ映像祭」(札幌文化芸術劇場主催)など上映事業や、ワークショップを多数企画。  
札幌国際芸術祭2017のコーディネーターなど。



島田 英二 (しまだ・えいじ)  
札幌国際短編映画祭 フェスティバル・ディレクター  
1976年釧路市生まれ。  
北海道大学で建築を学んだ後、南カリフォルニア大学のワークショップで映画制作を学ぶ。短編映画「Hands」がアメリカン・ショート・ショートフィルムフェスティバルに入選、国内外で紹介される。帰国後、札幌のICCを拠点に多数の短編映画を制作、グランプリを含む数々の国際的な賞を受賞。  
2008年より北海道情報大学情報メディア学部准教授。  
2016年より札幌国際短編映画祭フェスティバル・ディレクターに就任。



深津 修一 (ふかつ・しゅういち)  
ゆうばり国際ファンタスティック映画祭エグゼクティブプロデューサー  
1954年愛知県生まれ。1996年プロジェクトマッピングを目的に(株)プリズムを設立。2008年ゆうばり国際ファンタスティック映画祭再開に際し、債務保証を一手に引受けることで民間主導の開催を実現させる。2012年さっぽろ雪まつりで初めてプロジェクトマッピングを実施。雪まつりの観客大幅増と夜の顔を作る。その他、映画製作(『北の零年』、『レオニー』、『エクレール』、『じんじん』)、舞台、コンサート、イベント制作等で、国内外を問わず精力的な活動を展開している。

# part2 NoMapsハレの日宣言



五十嵐 慎一郎 (いがらし・しんいちろう)  
NoMaps総合プロデューサー/実行委員  
株式会社大人 代表取締役社長。  
1983年小樽市生まれ。  
札幌南高校卒業後上京。紆余曲折を経て、東京大学建築学科卒。「北海道から、世界をちょっぴり面白くクリエイティブに」を掲げ、株式会社大人を2016年に設立。  
店舗や施設の企画/デザインといった空間プロデュース業務をはじめ、ウェディング事業や地域活性化イベントの企画運営、WEB制作etc.を行う。  
玉置浩二が好き。



祭太郎 (まつり・たろう)  
合同会社maturi・はり灸アトリエ祭林堂  
1977年名寄市生まれ。生き辛さが故に20歳の時、ウサギ耳のかぶり物の姿で路上で受け身をとりはじめ、自らの表現で身体の解放を体験し目醒める。その後、祭太郎と名乗り、現代におけるハレとケについて考察しながら道化師のように振舞う。表現方法は一つに限らず、美術では絵画、映像、インスタレーション等を展開。近年は鍼灸師の活動も始める。2003年から、RISING SUN ROCK FESTIVAL in EZOの道沿いで応援パフォーマンスを行なっている。2010年北海道鍼灸専門学校臨床センター主任として5年勤務。2015年合同会社maturi設立、2018年はり・灸・アトリエ 祭林堂をオープンし、現在に至る。



和田 哲 (わだ・さとる)  
街歩き研究家  
1972年札幌市生まれ。市電沿線で電車を毎日見ながら育つ。札幌旭丘高校、日本大学法学部卒業後、広告代理店や地元情報誌「O.tone」編集者を経て独立。古地図や古写真、道路のずれから札幌の歴史をひもとき、雑誌連載やYouTube、講演活動などで発信している。  
2015年にNHK「プラタモリ」札幌編で2人目の案内人を務め、現在はHBC「今日ドキッ!」の不定期特集「ほっかいどう歴史散歩」やHBCラジオ「朝刊くららい」(毎週金曜日)などに出演中。著書に『古地図と歩く札幌圏』(あるた出版/2020年)。



## 札幌市図書・情報館

連絡先/札幌市教育委員会中央図書館利用サービス課図書・情報館  
〒060-0001 札幌市中央区北1条西1丁目 札幌市民交流プラザ2階  
TEL.011-208-1113 FAX.011-208-1110  
HP : <https://www.sapporo-community-plaza.jp/library.html>

